

令和2年度 学校評価 関係者評価票

名前

学校名

兵庫県立姫路南高等学校

本年度の学校経営方針

- ①「時習窮理」「自主特立」「信義執禮」の校訓のもと、文武両道を体現することで考える力を高め、身体や感性を大切にしながら意欲的によりよい社会の創り手となる人間を育成する。
- ②人権尊重・個性尊重を基礎として、学校・家庭・地域の連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。

総合的な自己評価

コロナ禍のもと始まった今年度は、何もかもが手探りながら、一方で「疾風に勁草を知る」の言葉どおり本校の強さを実感する1年でもあった。各部署とも感染対策を講じながらPDCAを繰り返し、生徒と一体となって工夫を重ねることで成果をあげることができた。惜しむらくは生徒の満足度に比べて「保護者や地域の期待」に関する評価が低いことである。このことについては、広報活動の不足も一因となっていると思われる。そこで、次年度以降は、もはや「既知」となったコロナ禍に適切に対応しながら、さらに「どうしたらできるか」を追求し、あわせて広報活動にも注力することで、一層、保護者や地域の期待に応えられるよう努力していきたい。

総合的な学校関係者評価

重点項目	評価の観点	評価項目	職員9月評価 % (小数第1位を四捨五入)					7月平均	実施事項	職員12月評価 % (小数第1位を四捨五入)					12月平均	保護者12月評価 % (小数第1位を四捨五入)					保護者平均	生徒12月評価 % (小数第1位を四捨五入)					生徒平均	改善の方策と考察	学校関係者評価	
			5	4	3	2	1			5	4	3	2	1		5	4	3	2	1		5	4	3	2	1				
			(5:思う 4:やや思う 3:どちらともいえない 2:あまり思わない 1:思わない) ただし、評価項目11については(5:50%程度 3:30%程度 1:10%程度)																											
生きる力を育み、こころを豊かに育て、自立した	生命と人権が尊重される、安全安心な学校づくりを推進している。	1	生徒がお互いを思いやり、生命と人権を大切にしている心の教育をすべての教育活動を通して行っている。	26	45	16	8	5	3.8		32	47	18	3	0	4.1	22	40	37	1	1	3.8	37	37	23	2	1	4.1	職員、生徒、保護者共に5と4の評価が高いことから人権意識は高まっている。ただ、保護者の3の評価も職員、生徒より高いため、生徒一人一人を大切にしている様子や学年通信等で発信し、人権に対する教育活動への理解を高めたい必要がある。	A
	いじめの早期発見・早期対応を行う。	2	生活実態調査やきめ細かな面談等でいじめの早期発見に努めている。	47	32	8	11	3	4.1	いじめアンケート	50	32	18	0	0	4.3	13	26	56	4	2	3.5	32	26	36	4	1	3.8	評価5が高い職員と評価3が高い生徒、保護者と評価に開きがある。学校と保護者のいじめに対する認識の違いであると思われる。保護者、生徒に対してさらなるきめ細かな対応を行い、組織的ないじめ対応についての体制を整えていく。	
	生徒の個性を尊重する生徒指導が行われている。	3	家庭との連携を密にして、生徒の内面理解に努め、個々に応じた生徒指導を行っている。	32	47	11	5	5	4.0		26	53	21	0	0	4.1	15	37	41	5	2	3.6	26	36	29	7	2	3.8	職員、生徒の評価4は高いが保護者は評価3が高いため、どちらともいえないと感じている保護者が多い。保護者に対しての連絡をさらにこまめに行い、信頼関係を高めたい。	
	さまざまな場面で生徒が自主性を発揮できるよう指導する。	4	教育活動が、生徒の主体性に基き活発に行われるように指導している。	29	29	32	8	3	3.7		32	34	34	0	0	4.0	20	44	32	3	2	3.8	35	37	22	5	1	4.0	生徒、保護者とも評価5、4が高くなっている。今年は新型コロナウイルス感染症のために通常の教育活動ができず、生徒の自主的活動が増えたためと思われる。職員においては、コロナ禍の中で自主的に動ける教育活動や授業のさらなる工夫が必要である。	
	安全教育を行い、命を尊重する態度を養う。	5	感染症予防対策や防災訓練を通して自他の生命を尊重する安全教育を行っている。	45	26	21	5	3	4.1	感染症予防啓発資料、動画等作成、心肺蘇生法等研修、防災避難訓練	42	47	5	5	0	4.3	22	42	30	5	1	3.8	33	40	20	6	1	4.0	学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルを基に、手洗い場の石けんの増設、消毒液の設置、食堂、職員室前廊下や職員室内のパーテーションの設置など、環境の整備に努めた。また感染症予防啓発動画の作成や資料の配布などを行い意識の向上に努めている。心肺蘇生法等の研修については、職員、生徒とも感染症予防のため実技研修ではなく動画視聴や資料により各自が研修を行った。感染症予防の徹底には行動変容の定着が課題だと思われるので引き続き感染症予防の啓発に努めたい。	
	国際的視野を持った生徒の育成に努める。	6	ALTを積極的に活用する等、生徒の英語力の向上や国際的な視野の拡大に努めている。	45	37	11	3	5	4.1		50	37	5	5	3	4.3	14	37	43	6	0	3.6	46	36	15	2	1	4.3	ALTが全学年の授業に入り、スピーキングテストやエッセイライティングなどに積極的に関わってくれることを生徒は体感し評価が上がっていると思われる。学校行事や修学旅行への参加など今年度は殆どなかったため、保護者の評価は微減したのではないかと分析している。	
	教育相談や特別支援教育を充実する。	7	キャンパスカウンセラーとの連携を密にし、生徒の心を支える取り組みを推進している。	45	32	16	0	8	4.1	キャンパスカウンセリング、カウンセリングマインド研修、専門機関との連携	42	37	16	5	0	4.2	15	36	45	3	1	3.6	32	31	29	5	2	3.9	年度当初の予定回数は26回であったが、4、5月の利用がなかったため計画を変更し22回実施することとなった。しかし実施日数は減っているが、夏季休業期間の短縮に伴い、8月の開催日を増やしたり、必要に応じて新たに日を設けるなど臨機応変に対応することができた。また専門機関との連携についても具体的な指導助言を受け適切に実施することができた。疾病に対する不安や、日常生活の緊張感から心身の不調を起こすこともあるので、次年度も回数を増やし、きめ細やかに対応する必要があると考える。	
学力の向上と個性や創造性の伸長	自ら学び探求する姿勢を身につけさせる。	8	学問の魅力を伝え、自ら考え勉学に励む態度を育成している。	8	58	21	11	3	3.6		11	63	24	3	0	3.8	12	28	49	10	1	3.4	20	36	30	11	3	3.6	臨時休業や分散登校により授業時間数が減少したことで、教科書の内容を終わらせるための授業になってしまった部分がある。学習活動に制限がある中でも、学問の魅力を伝えられるように、授業改善を進めていく必要がある。	B
		9	臨時休業中は、遠隔授業の実施や課題の指示等学習支援を適切に行い、生徒の学びを止めない工夫をしている。	50	29	13	3	5	4.2		40	45	13	0	0	4.2	15	28	38	12	6	3.3	26	32	24	14	4	3.6	教員は、工夫をして課題を作成したり、動画授業を配信したり、できる限りの努力をした。しかし、家庭学習の取り組み状況やその成果は、十分なものではなかったのかもしれない。また、どのような学習支援が行われているか、保護者に伝わっていないこともあった。これらの理由で、教員と保護者・生徒の評価に差が生じていると思われる。課題や動画授業の精選と、保護者にも本校の取り組みが伝わるように発信していくことが必要である。	
		10	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践した。(5:5回以上 3:1回~4回程度 1:実践していない)	20	74	6	3.3		29	55	11	3.2														ひよご学方向上サポート事業指定校の取組みとして、アクティブラーニング型授業の導入に取り組んでいる。コロナ禍の中、グループ活動などは実施しにくい状況ではあったが先生方の工夫によって、生徒の能動的な学びが実現できた。今後は新しい授業形態を定着させることに取り組んでいく必要がある。				
		11	主体的・対話的な授業を取り入れた場合の構成割合はどの程度ですか。(5:50%程度 3:30%程度 1:10%程度)	26	53	21	3.1		24	40	40	2.8														授業の中の構成割合は高い方が良いということではなく、生徒に主体的に授業に参加させることが目的である。教科・科目の特性に合わせて実施できていることは評価できる。効率よく生徒の学習活動が進むように授業改善を進めていきたい。				
		12	計画的に研究授業や公開授業を行い、授業内容や指導方法について意見を交換し、授業改善に取り組んでいる。	13	50	24	11	3	3.6		13	34	42	8	3	3.5	11	31	49	8	2	3.4	24	39	26	9	2	3.8	今年度は、臨時休業や分散登校の影響もあり、時間に余裕がなく、研究授業の実施は少なかった。公開授業週間は11月の2週間を設定した。授業見学をした教員が多かったため、生徒の評価が高いのではないかと考える。来年度は、より積極的に研究授業を実施し、授業改善につなげていきたい。	
		13	自らの能力を自ら向上させる基礎力を養う。	0	50	34	13	3	3.3		0	42	45	13	0	3.3	15	33	42	10	1	3.5	24	35	30	8	3	3.7	家庭学習の課題を課しているが、タイムマネジメントを行う習慣を身に付けさせる具体的なアプローチはできていないため、教員の評価が低いと考える。生徒が課題をこなすだけでなく、自分で計画を立てて自ら学習する習慣を身に付けられるようにしていきたい。	
		14	基礎学力の定着と応用力の伸長をはかる。	29	42	21	3	8	3.9		34	45	18	5	0	4.2	16	44	31	9	0	3.7	36	37	20	5	2	4.0	小テストに関しては、朝のSHRで実施したり、グループクイズを用いて実施している。また、週末課題にも計画的に取り組ませているため、教員、生徒ともに評価は高いと思われる。さらに、内容を精選するなど、基礎学力の向上につながるようしていきたい。	
	15	進路指導が、組織的・計画的に実施されている。	11	40	26	13	11	3.3		8	37	40	8	8	3.3	15	41	34	8	1	3.6	33	37	23	6	1	4.0	年間計画を立てたが、コロナ禍の影響でほとんどの進路行事は中止となった。職員の進路に関する組織的な取り組みもむずかしい面があったようだが、職員の積極性を引き出し、情報共有や連携体制をつくるための工夫を考慮していく。		
	16	進路目標達成のための指導体制が確立されている。	11	29	40	11	11	3.2		13	37	34	8	8	3.4	13	38	37	9	3	3.5	37	34	22	5	2	4.0	新しい入試のスタートの年であったが、変更に次ぎ変更の上に、コロナ禍に見舞われ、進路情報の把握が非常に難しい状況が続いている。その中でも情報の収集と周知に最善を尽くしたい。		
	17	知・徳・体の調和がとれた人間を育成する。	21	40	29	3	8	3.6		24	50	21	3	3	3.9	28	44	26	2	1	4.0	53	31	12	2	2	4.3	昨年度に比べ、保護者、生徒、職員全ての評価は上がってきている。特に生徒の値が高い。コロナ禍における新しい生活様式に基づき、活動時間や内容についてさらに共通理解を深めながら取り組んでいきたい。		
り学類地域校き域づくりに関する情報	18	保護者や地域住民に積極的に情報提供している。	26	47	16	5	5	3.8		40	34	18	5	0	4.0	13	35	39	9	4	3.5	26	29	33	8	4	3.6	昨年までと同様、職員に比べ生徒・保護者の評価が低い。学年通信の定期的発行やHP内の学年ページでの情報提供などをおこなっているが、それらが十分に伝わっていない側面があると思われる。コロナ禍の影響で直接保護者や地域の方々と接する機会が減っており、情報発信の仕方を工夫・改善していく必要がある。	C	
	19	お子様は、本校での高校生活に満足していると思いますか。														39	37	19	5	1	4.1	59	26	11	3	2	4.4	保護者平均が過去3年間で3.9→4.1→4.1、生徒平均が4.0→4.2→4.4であり、本年度も全項目の中で最も高い評価をいただいた。一方で否定的な評価は、保護者が10→9→6、生徒が10→9→5となり、減少している。今後も生徒、保護者の多様なニーズに配慮するため、よりきめ細かな教育活動を行いたい。	D	
	20	本校に入学して良かったと思いますか。																				60	23	12	3	1	4.4	過去3年間で4.0→4.2→4.4であり、評価項目19とほぼ同様の高い評価をいただいた。一方で否定的な評価は、11→10→4となり、減少している。前項と同様、個々の生徒に寄り添った丁寧な指導が今後とも必要である。		
	21	本校は保護者や地域の期待に応えていると思いますか。														15	38	40	5	2	3.6							上記2項目の高い評価と異なり、過去3年間の評価は3.6のままである。ただ、3の「どちらでもない」が33→32→40であることから、コロナ禍の影響で様々な学校行事がなくなり、保護者・地域との接点が減ったことが関係していると思われる。保護者や地域の多様な期待に応えることは容易ではないが、各項目の改善を重ね、期待に耳を傾け、学校の方針を丁寧に説明していくと同時に、適切な情報発信を充実させる。		
	21	本校の学校評価の結果(ホームページ上に公開)をご覧ください。(2:はい 1:いいえ)																										昨年、一昨年とほぼ評価は変わっておらず、約半数の保護者は閲覧していない。学年通信やPTAの広報誌による案内を充実させていく。		